



### おおぐま座

大熊座は北の空に見える星座で、星座の面積は 88 星座中 3 番目に大きく、熊のしっぽにあたる『北斗七星』はよく知られています。北斗七星は 1 年中沈まないのので北極星を見つける目印としてよく利用されます。沈まないと言っても南北に長い日本ですから、沈まないのは秋田市～宮古市より北の地方だけで、東京～敦賀市で 2 個、宇和島市～唐津市で 4 個、与論島より南では 7 個全て沈むときがあります。北斗七星の先から二つめのミザールという星をよく見ると、すぐそばに星が 1 つくっついています。その昔、アラビアではこの星で視力検査をしたといわれています。

大熊座のそばに獵犬座があります。星座絵を見ると熊を駆り立てる二匹の犬が描かれています。りょうけん座のコル・カロリという星は二重星で、望遠鏡で見ると白い 3 等星のそばにピンクの 5 等星が寄り添っているのが見えます。このあたりには明るく大きな銀河が多く、小型の望遠鏡でもいくつか見えます。

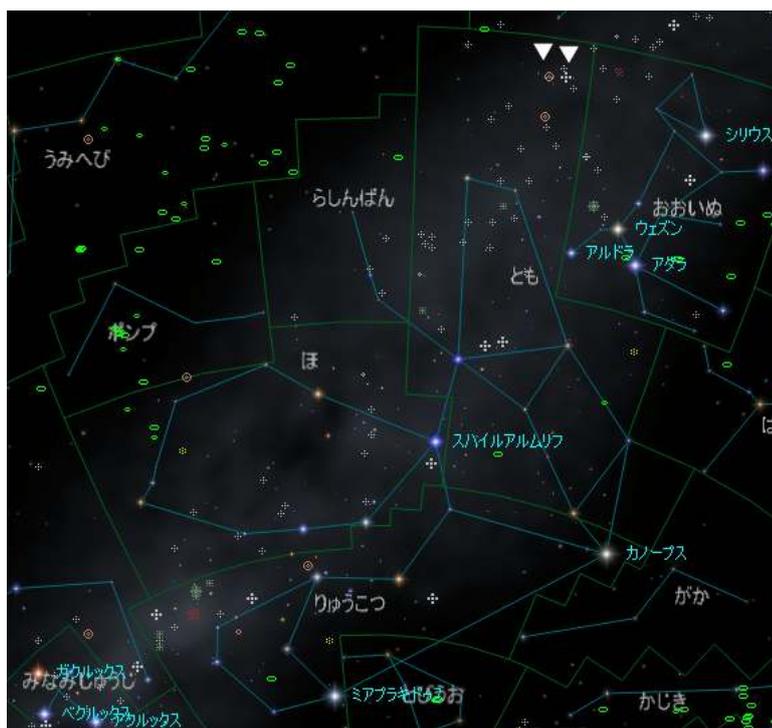
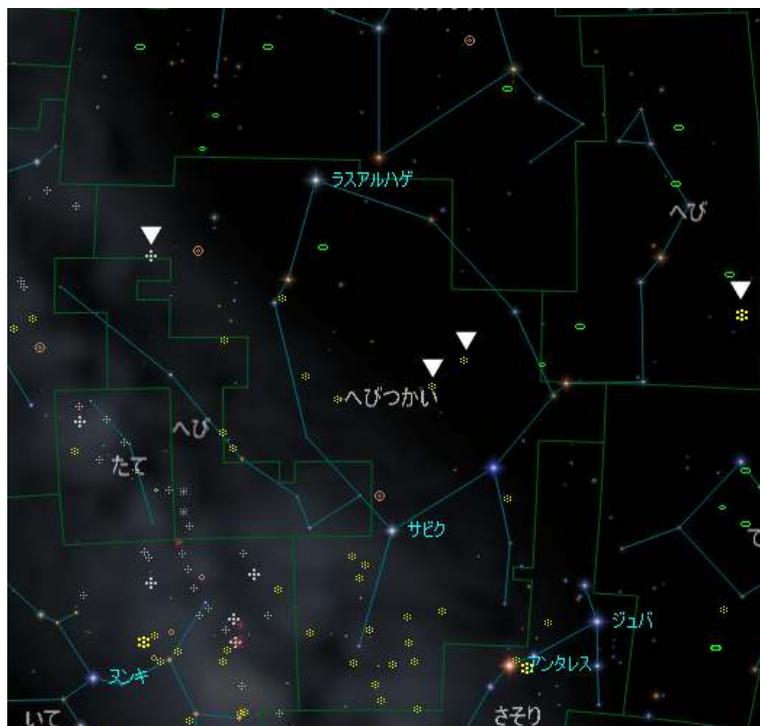
なお、MyStars に登録されている方(2010 年 4 月末)は大熊 364 名、獵犬 55 名、髪 45 名です。

# 綺羅星・星座ガイド

## ◎蛇座と蛇遣い座

蛇と蛇遣いというインドのへびつかいを想像しますが、この星座はギリシャ神話をもとにした古い星座の一つで、共に夏の星座でさそり座の北にあります。星座のもとになった蛇遣いはアスクレピオスという医者です。恩師ケイローン（射手座）から色々なことを学び、特に医術に優れていて、どんな病気でも治すことが出来、最終的に死者を生き返らせることも出来るようになったということです。

蛇のしっぽと蛇遣いの足は天の川の中にあるため、色々な天体があります。特に多いのは球状星団で、M5、M10、M12 は明るく大きいので口径 8 cm くらいの望遠鏡でもポツポツと星が見え、少し倍率を高くするとたくさんの星が見えてきます。また、蛇遣いの足下には S 字型の暗黒星雲があります。



## ◎アルゴ座

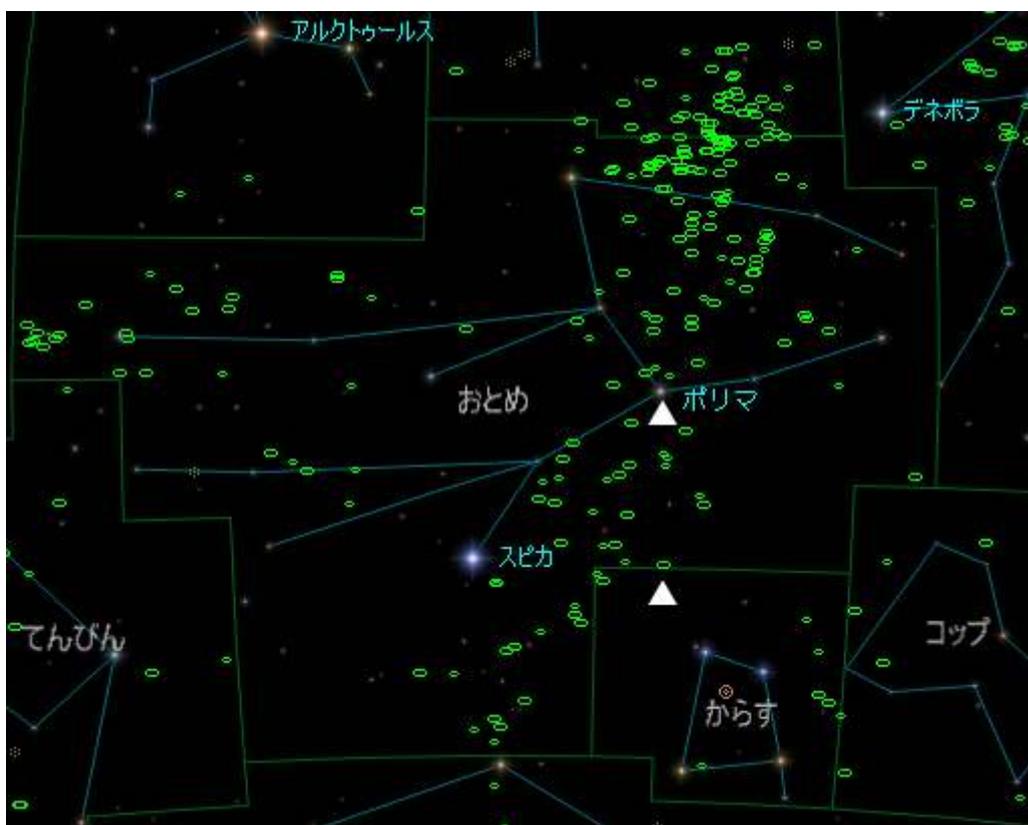
アルゴ座はおおいぬ座の南東にあった星座ですが、あまりに大きすぎると言うことでとも座、ほ座、りゅうこつ座、らしんばん座の四つに分けられました。冬の天の川に浸かった星座で、個々の星座としてみると特別目立つものではありませんが、竜骨座には全天で 2 番目に明るいカノープスがあるので、それだけでも存在感があります。カノープスは南に低いいため北日本では見えず、北関東あたりが北限とされています。中国では「カノープスを見ると長生き

できる」という言い伝えがありますので、一度は見ておきたい星です。シリウスの東にあるとも座にはM46とM47という二つの星団があり、M47は双眼鏡でも分かります。M46は小粒の星の集まりですが、望遠鏡で見るとこの中にリング状の星雲が見えます。

## ◎乙女座

誕生日星座としてもおなじみの乙女座は、春の星座の一つです。ギリシャ神話では愛と農業の女神で、

おとめ座にはスピカという1等星があり、白く光る星で真珠星とも呼ばれます。スピカは太陽の6倍ほどの星ですが、表



面温度は2万度以上あるとても熱い星です。距離は260光年も離れていて、実際の明るさは太陽の2500倍ほどあります。スピカの右上にあるポリマという星は、3.6等星の二つの星が176年の周期で周り合う連星で、2008年に最も近づき大きな望遠鏡でも分離が困難でした。今は少しずつ離れてきて、2020年ころには小型の望遠鏡でも二つの星が並んで見えます。

春の星空は天の川がないので遠くがよく見通せます。そのため銀河系から遙か遠くにある銀河が無数に見え、特におとめ座の北部に集中しています。この辺りは『おとめ座銀河団』という銀河の大集団で、中心までは4000万光年ほどあります。私たちの銀河系もその中の一つですが、銀河団から見れば端っこの方にあります。おとめ座で見やすい銀河の1つに、スピカの西でからす座の上にM104という銀河があります。メキシコのソンプレロという帽子に似ていることから『ソンプレロ銀河』と呼ばれ親しまれています。小型の望遠鏡でも横長の姿が見え、大きな望遠鏡では真ん中が明るく膨らんだ姿が見えます。



「My Stars 通信」の天文図は **StellaNavigator8 (AstroArts)** を使用しています。

# 綺羅星列伝

今回は4遍ご覧ください。皆さんの星物語よろしくお祈いします。お寄せいただいた物語はしよさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

星の名前 : **YUDUKI**

この星は、おじいちゃんとおばあちゃんが私達の息子にプレゼントしてくれました。息子の名前は“ゆづき”。漢字で書くと“優月”。

夜道を明るく優しく照らすお月様のように。みんなに優しくできる子になってほしいと願いをこめてつけました。

優月がお腹の中にいた年にみた中秋の名月は、とっても綺麗で、このお月様に『とにかく元気に生まれてきますように』とお祈いをしました。

優月、これから先10年、20年、30年・・・

と生きていく中で辛いことや悲しいことに出くわす時がくると思います。

そんな時、このほしを思い出して、この星に会いに来て下さい。

優月のまわりにいる沢山の人の事を思い出して下さい。

望まれ、愛されて、沢山の人の手によって、この世に生まれてきたことを思い出して下さい。

どうか、この星に『僕は幸せです』と言える人生を歩んで下さい。

優月の幸せが私達みんなの幸せです。

星の名前 : **STAR of Kunihiro**

6月の21日、父の日に合せて息子がプレゼントしてくれました。粋な計いをするもんですと感心している所です。

私が星が好きになり、宇宙、天文学へと、のめり込んで行ったのは現在の地に30数年前移り住んでからです。というも田舎であるし当時道路には外灯なんて付いていませんでした。家を出て一直線の1km程の田圃道は夜になると真暗で、従って空を見上げれば、晴れた夜には満天の星空でした。知っている

のは天の川銀河と北斗七星位でした。

それから数十年の年月が経ち二人の子供も結婚することになり、その時の私の挨拶が150億年前、ビッグバンにより宇宙が誕生して・・・云々というものでした。二人とも同じ挨拶をしたのでした。今思っても何を偉そうに言ったものかと厚顔の至りです。しかし今や天文学・科学も進み、1989年人工衛星COBE、2001年のWMAPの観測の結果、宇宙の誕生は137億年前と分かりました。そ

れまでは世界の天文学者も①110 億年説②120 億年説③140 億年説④150 億年説と色々でした。ハワイにある日本の国立天文台の“すばる”望遠鏡で140 億光年彼方の銀河の映像を見て若い天文学者達が大喜びしているのを見ましたけど間違っていたのでしょうか。自説を主張すれば良いのに気になりました。

良く天文学は1 億2 億の間違ひは間違ひの内に入らないと言われていますが、私はそういう大ざっぱな所も大好きです。反面、月探査機“かぐや”が月面に段々と降下する時ロケットエンジンを2分20秒間正確に逆噴射しなければなりませんと言っていました。考えれば面白いですね。最初は月までの距離を36万kmと物の本に書いてありましたが、そう覚えていました。所が現在38万km小学生でも知っている常識です。

銀河系という言葉も知りませんでした。宇宙は私達が夜空を見上げて見える範囲で終わり宇宙の全てだと思っていました。私達の銀河系には約2千億個の星々があり、それが宇宙には私達の銀河系の様な銀河が、又約2千億個有ると知り本当に驚きました。晴天の霹靂といってもいいでしょう。

或る天文台の人が子供達に銀河系には約1千億個の星がありますと教えていました。私は『あれーおかしいなあー』と思いました。

日時は忘れましたが、北斗七星が海水を汲み上げる形になるのを見に行きました。地球

上で北九州の一部から宗像の海岸だけに見られる現象だそうで、2晩続けていきました。2晩目の午前2時半頃目にする事が出来ました。何とも神秘的で一人で感動していました。

8月1日若田光一さんから乗組員7人を乗せたNASAのスペースシャトル・エンデバーが無事地球に帰って来ました。そのISSも2度ほど見る事が出来ました。普通の人工衛星と違ってISSはサッカー場程もあるので、大きく輝いているので一目で分かりました。これにも感激しました。

私はオリオン座が好きなんです。テレビでオリオン座の三つ星の左下に地球から1500光年の所に、今でも星が誕生していると知り好きになりました。犬にもオリオンと名付けました。今回息子もオリオン座周辺を希望したらしいのですが無かったそうです。現在まだ実感が湧いていません。

ハワイの国立天文台の“すばる”望遠鏡を見に行くのが夢でした。今日時点で世界の3番目の口径になりましたが、8m20センチは長事世界一でした。今は北海道しょさんべつ天文台とどちらを先にしようかと迷っています。将来光速ロケットが発明されて太陽系外や、銀河系を飛び出すのが本当の宇宙旅行と言えると思います。私も高齢ですのでせめてKunihiroと名が付いた自分の星でも見に行きますかね。その時は宜敷くお願い致します。楽しみにしています。

---

星の名前 : **REIKO**

---

認知症を患い7年にわたる闘病生活を送っていた妻が7月3日に亡くなりました。

もっと何かしてやれることはなかったのか、どんな姿でも良い、もっと生きていてほしか

った。と悔やみながら1ヶ月余りが経ちました。

そんな時、近所に住む孫達が、夏休みを利用して初山別へキャンプに行くことになりま

した。

出発の日の朝、何げなく道新の「卓上四季」に目を通していたところ、初山別天文台のことが記事に載っていました。

そこで、孫達に「初山別でこんな事をやっているそうだよ、時間があったら寄っておいで」と言って送り出しました。

2泊して帰って来たので、どうだったと聞くと、「ずっと曇りっぱなしだったけど、丁度その時雲の切れ間があって星が見えたよ」と言ったので、「どんな名前を付けて来たの」聞くと、「おばあちゃんの名前」と嬉しそうに答えてくれました。

別に頼んだ訳でもないのに、1ヶ月ほど前に天国へ行ったおばあちゃんのことずっと

忘れられなかったのか、それとも、余りに悲しんでいるおじいちゃんを少しでも慰めてあげようと思ったのか、星におばあちゃんの名前をつけてくれたのです。

それまでは、たゞ妻の遺影を前に泪の日々を送っていた私でしたが、それを聞いて「あゝ、そうだったのか。おかあちゃんは星になったんだ」と思えるようになり、何だか遠くに逝った妻が身近に感じられるようになりました。

星におばあちゃんの名前をつけてくれた孫達のやさしい思いやりと、これからはいつも空から私達を見守ってくれているのかと思うと、これまで50年間の妻との生活を偲びながら、穏やかな毎日を送ることができるようになりました。

---

## 星の名前 : Twinkling Setsutaro

---

節太郎君へ

君が歩き始めたと聞いた日から私たちの頬は緩みっぱなしです。「じいじ、ばあば」と言いながら私たちの方に歩いて来てくれることを楽しみにしています。

「七転び八起き」という言葉があります。君は正に今、両親やそちらのおじいちゃん、おばあちゃんの溢れるような愛情を受けて起き上がったのです。この先七回転んだとしてもくじけず、前を向いて7回起き上がってください。

君の星座蠍座の中の小さくて大きい星のひとつに「Twinkling Setsutaro」と名付け君に贈ります。

君の両親やおじいちゃんおばあちゃんといっしょに夜空を見上げて君の星を探す姿、少

年になった君がしょさんべつ天文台の天体望遠鏡で君の星を確認する姿、世界のどこかで君の愛する人や君の子供たちと君の星の物語を語る姿などを思い浮かべています。

君の星は君が苦しくても助けることはありません。君がどんなにすごいことをしても褒め称えることもしません。「Twinkling Setsutaro」きらきら光り輝く節太郎星は昼間でも、雨の日でも、日本からは見ることができない季節でも遠い宇宙からただ静かに、だけど必ず君を見守っています。

私たちもしょさんべつ天文台で君の星を見るという楽しい目標が出来ました。節太郎君、生れて来てくれて本当にありがとう。初めてのお誕生日おめでとう。

じいじとばあばより

# こちら情報室

## ○天文情報（6月～11月）

### 流星・彗星

- 8月13日を中心にペルセウス座流星群（7/20～8/20）

活発な流星群の1つで、多いときは1時間で50個以上見られます。今回は新月近い月のため月明かりがなく好条件で見られます。極大は13日の9時ごろと予想されているので、12日の夜中から13日の未明が良いでしょう。

- 10月22日未明にオリオン座流星群（10/10～11/5）

今年は満月のため条件は最悪です。

- 11月18日未明にしし座流星群（11/5～11/25）

上弦と満月の間にはいるため月明かりがあります。月が沈む2時以降がよいでしょう。

### ◎ 彗星を見よう

- 9月から11月にかけてハートレー彗星がみられます。今回は地球と彗星の位置関係が良かったため、10月から11月にかけて肉眼でも見える4等級の明るさになると期待されています。

### 日食・月食・星食

- 6月26日の日没後、全国で月の54%が欠ける部分月食が見られます。欠け始めは19時16分、最大は20時38分、終了は22時00分です。天文台では観察会を予定しています。次の12月21日は全国で皆既月食が見られます。
- 7月12日にイースター島やタヒチ島などを含む南太平洋で皆既日食が見られます。気軽に行ける所ではありませんが、行ける人は楽しんでください。



### 惑星

**水星**：8月7日と12月2日は明け方の東空で、5月26日と9月20日は夕方の西空で最大離隔となり見やすくなります。

**金星**：夕方の西空で明るく輝いていて、8月20日に最大離隔、9月24日に最大光度（-4.6等）、

10月28日に内合（地球と太陽に間）になり、以後明け方に東空に見えます。

**火星**：1月28日の接近から時間が経ち次の接近（2012年）まで一休みです。

**木星**：9月22日にうお座で衝（地球に接近）になり、秋から冬の空でいちばん見やすい惑星です。

**土星**：8月まで夕空にあります。10月2日に合（太陽の向こう側）になり、以後明け方の空で見えます。

**天王星**：9月22日にうお座で衝になります。今年は木星の近くにいます。

**海王星**：8月20日にやぎ座で衝になります。

## 星まつりのお知らせ ☆☆☆☆☆

**第19回しょさんべつ星まつりを行います。お気軽にご参加下さい。**

**日時**：2010年7月3日(土) 13時～24時

**会場**：しょさんべつ天文台

**主な内容**

**(株)植松電機 専務取締役 植松努氏による純道産カムイロケットの話し  
モデルロケットの作成と試射会  
天体観望など**

### [連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mail どちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

「My Stars 通信」の送付について、登録番号 8481 までの方は次号よりホームページ上でご覧ください。なお、インターネット利用環境のない方につきましては今後とも郵送することで考えておりますので、希望者にはご一報いただきたくお願いします。

### [編集後記]

2010年4月末現在の登録者数は8542名です。

去る1月30日付の国際天文学連合（IAU）発行の天文回報にて、小惑星「Shosanbetsu」の誕生が報じられました。日本に関係する地名や人名はすでに数百個登録されていますが、これで初山別も永遠(?)に輝き続けることになりました。今年の星まつりは7月3日に行います。近くにお越しの際はお立ち寄りください。

今年の世界的イベントは多くの人たちが熱狂した冬季オリンピックと、南アフリカで開催されるワールドカップサッカー、色々（良くも悪くも）話題豊富な上海万博でしょうか。

今年の冬は気象台の予報では『暖冬』ということでしたが、皆さんはどう感じたでしょう。ワタシは寒くなったり暖かくなったりで暖冬という感じはしなかったです。去年が暖かすぎたせいかもしれません。桜の開花も早かったようですが、4月中旬に関東地方で雪が降ったとか。地球全体で見ると大きな地震が毎月のように発生（インドネシア、ハイチ、チリ、トルコ、中国など）、4月にはアイスランドで火山が噴火し、ヨーロッパ各国で飛行機が止まり大混乱となりました。文明の利器も大自然の前では非力であることを見せつけられた感じです。また、この噴火で大量の氷河が溶け出し多くの人が避難を強いられました。自然災害は事前の予測が難しいので、万一の備えはしておきましょう。

(K)

編集・発行 しょさんべつ天文台 〒078-4431 北海道苫前郡初山別村字豊岬 153-7

天文台ホームページ URL=<http://www.hokkai.or.jp/shosanbe/>

E-Mail 教育委員会 shkyoiku@saturn.plala.or.jp しょさんべつ天文台 shosanbe@hokkai.or.jp